

今週の株式見通し

先週の東京市場は、米中の貿易交渉などへの不透明感が後退する中、米長期金利の上昇や為替相場の円安を好感し、銀行など金融株が大幅高。鉄鋼など素材や市況高を受けた原油関連株も上昇。売買代金についても8月半ば以降の1兆円台から概ね2兆円半ば超と増加し、日経平均株価は週末までに9連騰を記録。8/26から約1,800円の上昇となりチャート上の200日MA(移動平均線)を一気に上回る大型株中心の力強い相場であった。一方、TOPIX Smallやマザーズ等の小型株は、ややもどかしい動きに終始した。

10月の消費税率の引き上げがもうすぐそこまで迫っている。今回、初めて導入された生活必需品等の商品別・態様別に税率を変える「軽減税率制度」も始まり、巷ではその線引きの判定についての混乱が起こりそうとの声が出ている。しかし、そのことにもまして混乱しそうなのが中小の小売店が対応に追われているキャッシュレス決済時の「ポイント還元制度」だといふ。

この「ポイント還元制度」の財源は、政府が財政資金から補填するもので10月から来年6月までの9か月間、中小事業者の店舗(コンビニ等小売りや飲食店)で、クレジットカードや電子マネーなど(キャッシュレス決済)で支払うと、購入額の2%~5%の還元を受けられるという仕組みだ。この「ポイント還元制度」を利用する店舗は、事前に経産省へ申請、認可を受ける必要があるが、10月1日の制度開始時に間に合う申請期限の9月6日時点の申請は約60万店で対象の中小店舗(約200万店)全体の3割程度にとどまるらしい(今後の申請は10月1日には間に合わないが、以後10日ごとに追加登録の方針)。

経産省によれば2015年時点の各国のキャッシュレス決済比率は、韓国は約9割、中国やカナダ、イギリス等では4~6割台に達するが、日本は2割弱にとどまるという。それを2025年の大阪・関西万博に向けて、キャッシュレス決済比率40%を実現するとし、世界のキャッシュレス大国に追いつけ追い越せとばかりに将来的には80%にするという意欲的な目標を掲げている。

個人にとって便利で、また徴税側からも所得の捕捉が容易なキャッシュレス。人々の新たな生活の行動様式を真に豊かなものとするためには制度への誘導施策だけではなく安全面での仕組み作りもまた早急な事だといふことは周知の事実であろう。セブン&アイ・ホールディングスの「セブンペイ」が大規模なハッキングで廃止に追い込まれたニュースや台風15号による停電でATMの可動停止、スーパー、コンビニが一時閉鎖されたというニュースも記憶に新しい。人為的な敵対行為や災害によるサービスの不全等について官民共働による強固なインフラ整備が望まれる。

今週は17~18日にFOMC(米連邦公開市場委員会)、18~19日には日銀金融政策決定会合が予定されているが、現状はこれまでの想定通り、米国は利下げ、日本は現状維持ということだろう。若干の円高警戒は出るものの、仮に9連騰の反動としての「スピード調整(チャートは5空を形成)」や外部要因による下落場面があるならば、まさしくそこは「初押し」の場面だろう。

売られた大型株の急騰で、僅かに上昇に転じた200日MAが市場に安心感を醸しだしているようだ。利食いに押された中小型株も一部反騰態勢を整え始めてきている。3週連続、冷静沈着にして果敢な行動の時。

参考銘柄

- 6099 エラン 【特色】 全国の病院や介護関連施設を通じ利用者に身の回り品などをレンタルする「CSセット」提供
- 6594 日本電産 【特色】世界首位のHDD用など精密小型モーターから社債、産業用など中大型にシフト。買収積極的
- 6758 ソニー 【特色】AV機器大手。海外でブランド力絶大。イメージセンサー、ゲーム、映画・音楽分野に重点
- 7564 ワークマン 【特色】作業服、関連用品の専門チェーン。直営店のFC化推進。PB比率向上、全国展開目指す
- 7747 朝日インテック 【特色】産業用から出発、循環器治療のPTCAガイドワイヤへ展開。タイ、ベトナムではほぼ全量生産

出所: 東洋経済新報社「会社四季報」

当該参考銘柄は本資料作成時における、多岐にわたる材料・投資環境等を考慮し掲載しておりますが、銘柄の選定、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の責任と判断でなさいますようお願い致します。

西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES CO. LTD.

〒600-8007 京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地 TEL:075-221-9390

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号 加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業

指定紛争解決機関 特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等はご遠慮下さい。

予想配当利回り一覧 2019/9/12

※株価：2019/9/12終値 配当金：各社決算短信年間予想参照 利回り：年間予想配当金÷株価

日経225対象銘柄				
銘柄コード	銘柄名	株価 (円)	予想 配当金 (円)	予想 利回り
2914	日本たばこ産業	2,333	154	6.60%
8304	あおぞら銀行	2,712	156	5.75%
7201	日産自動車	711.1	40	5.63%
8053	住友商事	1,749	90	5.15%
5019	出光興産	3,155	160	5.07%
2768	双日	346	17	4.91%
4188	三菱ケミカルHD	814.9	40	4.91%
6178	日本郵政	1,024	50	4.88%
4502	武田薬品工業	3,719	180	4.84%
1808	長谷工コーポレーション	1,243	60	4.83%
5707	東邦亜鉛	2,072	100	4.83%
8316	三井住友フィナンシャルG	3,769	180	4.78%
8002	丸紅	747.5	35	4.68%
7270	S U B A R U	3,097	144	4.65%
6472	N T N	325	15	4.62%
7272	ヤマハ発動機	1,980	90	4.55%
5703	日本軽金属HD	199	9	4.52%
5020	J X T G H D	487.2	22	4.52%
8411	みずほフィナンシャルG	167.9	7.5	4.47%
8058	三菱商事	2,800.5	125	4.46%
8308	りそなHD	474.8	21	4.42%
6301	小松製作所	2,490	110	4.42%
5214	日本電気硝子	2,491	110	4.42%
8306	三菱UFJフィナンシャル・G	568.3	25	4.40%
8031	三井物産	1,829.5	80	4.37%
7762	シチズン時計	550	24	4.36%

東証JASDAQスタンダード銘柄				
銘柄コード	銘柄名	株価 (円)	予想 配当金 (円)	予想 利回り
2411	ゲンダイエージェンシー	425	25	5.88%
8893	新日本建物	355	20	5.63%
8903	サンウッド	471	25	5.31%
6257	藤商事	961	50	5.20%
4705	クリップコーポレーション	771	40	5.19%
8886	ウッドフレンズ	2,123	110	5.18%
6254	野村マイクロ・サイエンス	582	30	5.15%
8119	三栄コーポレーション	3,155	160	5.07%
3293	アズマハウス	1,601	80	5.00%
7722	国際計測器	702	35	4.99%
7837	アールシーコア	1,013	50	4.94%
7523	アールビバン	610	30	4.92%
8887	リベステ	820	40	4.88%
1782	常磐開発	5,150	250	4.85%
5742	エヌアイシ・オートテック	808	39	4.83%
5162	朝日ラバー	629	30	4.77%
6384	昭和真空	1,285	60	4.67%
6919	ケル	776	36	4.64%
6889	オーデリック	3,880	180	4.64%
3948	光ビジネスフォーム	395	18	4.56%
4972	綜研化学	1,212	55	4.54%
8931	和田興産	754	34	4.51%
2714	プラマテルズ	513	23	4.48%
1439	安江工務店	1,008	44	4.37%
1994	高橋カーテンウォール工業	690	30	4.35%
2763	エフティグループ	1,379	59	4.28%

西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES CO. LTD.

〒600 - 8007 京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地 TEL:075-221-9390

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号 加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業

指定紛争解決機関 特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。上記配当利回り等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等はご遠慮下さい。